

冬の樹木を見てみよう

森林植生研究領域 チーム長 倉本 恵生



堅そう
だろ？

a トチノキ

冬の樹木も
面白いよ!!

c オニグルミ

フカフカ
そうじ

b コブシ

何も着てない
裸だよ!!

写真1 冬芽のタイプ aとbを鱗芽、cを裸芽といいます。

冬は葉っぱも花も無くて見分けがつかないと思っていまいませんか。
冬の樹木の見方・楽しみ方を紹介しましょう。
大きくて見やすい木でまずみてみましょう。トチノキの冬芽は堅
そうな覆い（芽鱗）に包まれています（写真1a）。モクレンやコ
ブシの仲間は覆いがふかふかしています（写真1b）。クルミ（オ
ニグルミ）は覆いがなくて、翌春開く葉がぎゅつと縮まっています
（写真1c）。



葉が入っているよ
（葉芽）

花が入っているよ
（花芽）

写真2 葉芽と花芽の違い（クロモジ）
花が葉と同じ芽（混芽）に入る樹種もあります

ノビノビ



ヤマボウシ

どうも!
とんがり帽子
の花の芽です



ハナミズキ

葉の芽も
よろしく!!

キャベツみたいに
まるまる育った
花の芽です

写真3 似たような木の冬芽の違い
どちらもミズキ科で、庭木などにもよく植えられます。

サル?
ヒツジ?...



オニグルミ

うちね?
マント?



トチノキ

さらに見ると、花だけの芽、または花も葉も入った芽と、葉だけの芽で、形や大きさが違います。春先の山で淡い黄色の花を咲かせるクロモジでは違いがよく分かります（写真2）。細長い芽が葉の芽、丸い芽が花の芽です。同じ仲間でも少しずつ形が違って見分けられます（写真3）。

冬芽とともに見ていただきたいのが葉の落ちた痕跡です（写真4）。小さい模様は枝から葉への水や養分の通り道の跡です（動物などに見立てると自分流に木を覚えることができますよ）。

写真4 葉の落ちた跡（葉痕）
目のような小さな模様は水や養分の通り道の跡です